

自己評価シート:小学校第6学年【資料の調べ方】の学習内容

これは、学習した単元【資料の調べ方】の理解度を自分で評価でき、理解度に合わせて取り組み方を選び、学習内容が今よりもっとわかるようになるためのプリントです。
教科書を読んだり、問題を解いたりして自己評価する内容を一つずつ【ホップ】→【ステップ】の順に進め、学習内容の理解度を自分で評価し、チェック問題に取り組みましょう。学習内容でわからないことがあれば、教科書を読み直したり、家族や友達、先生に聞いたりして、学習内容がわかったかどうかを確かめましょう。全ての内容の自己評価とチェック問題が終わったら【ジャンプ】に進み、学習内容が今よりもっとわかるようになるために取り組んでいきましょう。

【ホップ：自己評価をしよう】

- ①教科書を読もう
- ②教科書の問題を解こう
- ③答えや解き方を確かめよう
- ④自己評価をしよう

【自己評価の目安】

- A : わかった
- B : 少しわからないところがあった
- C : わからないところが多かった

【ステップ：チェック問題を解こう】

- ・自己評価A、B→チェック問題を解こう
- ・自己評価C →友達や家族、先生に聞いたり、ポイントをまとめたりしてからチェック問題を解こう

【ジャンプ：今よりもっとわかるように取り組もう】

- チェック問題が全て終わったら、次のどちらかに進もう
- ・チャレンジ問題
- ・もう一度確かめてからチャレンジ問題

【資料の調べ方】

【学習内容】代表値の意味や求め方を理解し、データを度数分布表や柱状グラフに表したり、読み取ったりすることができるようになろう。
この学習では、【代表値】、【平均値】、【中央値】、【最頻値】、【ドットプロット】、【階級】、【度数】、【度数分布表】、【柱状グラフ(ヒストグラム)】という【算数用語】が大切です。

	☆教科書を読んだり、問題を解いたりして自己評価する内容	【ホップ】			【ステップ】	【ジャンプ】
		啓林館 ページ	東京書籍 ページ	自己評価 (理解度)	チェック問題	チャレンジ問題
↓	・平均値などの意味を理解すること	72~74	178~179	A B C	①、② ③、④、⑤	★学習している教科書会社の学習プリント 【啓林館】自己評価テスト 【東京書籍】うでだめシート 参考問題 ★佐賀県教育センター 中学校数学 学習プリント 一年生用【資料の活用】
↓	・ドットプロットの意味を理解し、ドットプロットを用いてデータをドットプロットに表すこと	75	180	A B C		
↓	・データをならべたりドットプロットに表したりして、中央値や最頻値の意味を理解すること	76~77	181 186	A B C		
↓	・階級、度数、度数分布表の意味を理解し、データを度数分布表に表し、読み取ること	78~79	182~183	A B C		
↓	・柱状グラフ(ヒストグラム)について知り、度数分布表を基に、柱状グラフ(ヒストグラム)に表し、読み取ること	80~81	184~188	A B C		
↓	・いくつかのグラフを結び付けて、どのようなことが分かるかを考えたり説明したりすること	82~83	190~191	A B C		

A、B、Cのいずれかを○でかこみましょう。

正解であれば、番号に色をぬりましょう。

【チェック問題】①階級、度数、度数分布表の意味を理解し、データを度数分布表に表し、読み取ること

H26_4月_中1・・・(1)84.1% (2)53.1%

次の表は、ある日に収かくされたピーマンの重さについて、ちらばりのようすを整理したものです。あとの各問いに答えなさい。

表

重さ (g)	個数 (個)
15以上～20未満	2
20 ～25	4
25 ～30	6
30 ～35	5
35 ～40	3
合 計	20

(1) ピーマン20個のうち、軽い方から数えて7番目のピーマンは、何g以上何g未満のはんい（区間）にありますか。

(2) 重さが30g以上のピーマンの個数は、全体の個数の何%ですか。

【チェック問題】②階級、度数、度数分布表の意味を理解し、データを度数分布表に表し、読み取ること

R1_12月_中2・・・(1)85.6% (2)21.5% (3)37.0%

ある中学校の2年生と3年生の生徒に対して、通学時間の調査をしました。度数分布表は、その結果をまとめたものです。あとの各問いに答えなさい。

度数分布表

階級 (分)	2年生	3年生
	度数 (人)	度数 (人)
以上 0 ~ 10 未満	23	<input type="text"/>
10 ~ 20	32	41
20 ~ 30	16	21
30 ~ 40	7	7
40 ~ 50	1	0
50 ~ 60	1	1
合計	80	100

(1) に当てはまる度数を求めなさい。

(2) 2年生の通学時間の最頻値について正しく述べているものを、次のアからエの中から1つ選んで、その記号を書きなさい。

- ア 2年生の通学時間の最頻値は、15分である。
- イ 2年生の通学時間の最頻値は、32人である。
- ウ 2年生の通学時間の最頻値は、10分以上20分未満である。
- エ 2年生の通学時間の最頻値は、1人である。

(3) 2年生の20分以上30分未満の個数は、全体の個数の何%ですか。

(2)の問題は、中学校で学習する【最頻値】の内容に関する問題です。以下に、中学校で学習する【最頻値】について紹介し、解き方を示します。

★最頻値について

中学校の教科書(啓林館)では、【最頻値】を次のように示しています。

【最頻値】

度数分布表では、度数のもっとも多い階級の「階級値」を【最頻値】として用います。

「階級値」

度数分布表で、それぞれの階級のまん中の値を「階級値」といいます。

★解き方

度数分布表から、2年生の通学時間の度数がもっとも多い階級は、「10分以上20分未満」です。度数分布表では、それぞれの階級のまん中の値を「階級値」とするので、この場合の「階級値」は「15分」です。

度数分布表では、度数のもっとも多い階級の「階級値」を【最頻値】として用いるので、この問題での【最頻値】は「15分」です。

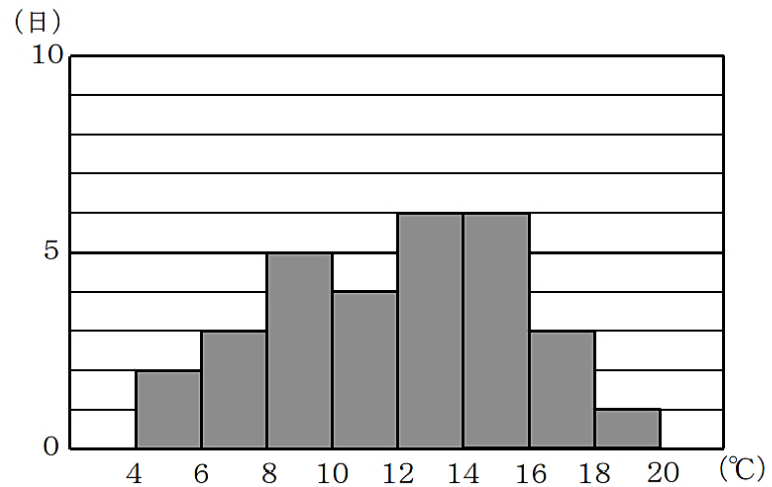
だから、答えは[ア]です。

【チェック問題】③柱状グラフ（ヒストグラム）について知り、ちゆうじよう度数分布表を基に、どすうぶんぷひょう柱状グラフ（ヒストグラム）に表し、ちゆうじよう読み取ること

H30_12月_中2・・・27.8%

図は、ある地点の2017年4月1日から30日までについて、日ごとの最低気温の記録をヒストグラムに表したものです。このヒストグラムから、例えば、最低気温が16℃以上18℃未満の日は3日あったことがわかります。

図 最低気温の分布



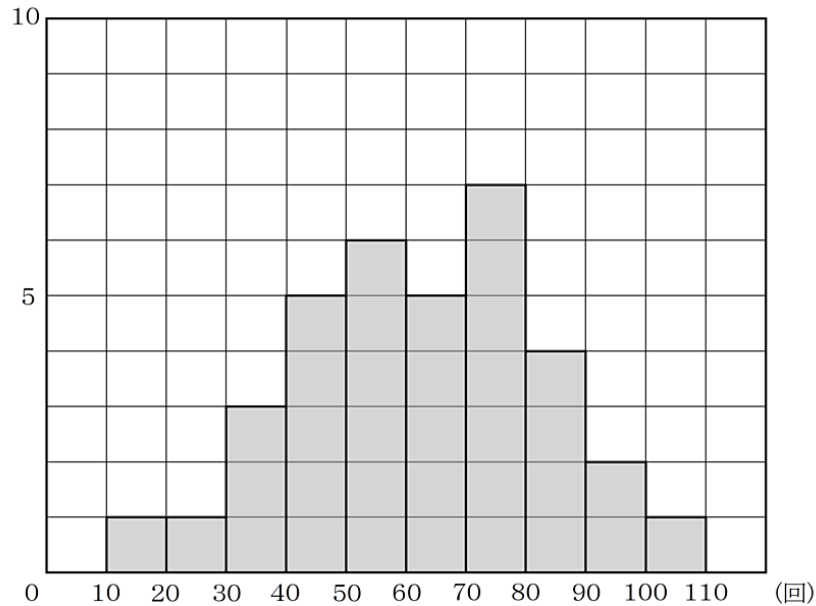
12℃以上14℃未満の個数は、全体の個数の何%ですか。

【チェック問題】④柱状グラフ（ヒストグラム）について知り、^{ちゅうじょう}度数分布表を基に、^{どすうぶんぷひょう}柱状グラフ（ヒストグラム）に表し、^{ちゅうじょう}読み取ること

H31_4月_中1・・・67.6%

しょうたさんのクラスでは、体力テストでシャトルランを行いました。グラフは、しょうたさんのクラスの生徒35人のシャトルランの結果を柱状グラフに表したものです。この柱状グラフから、例えば、シャトルランの回数が10回以上20回未満の生徒が1人いたことが分かります。あとの各問いに答えなさい。

グラフ
(人)

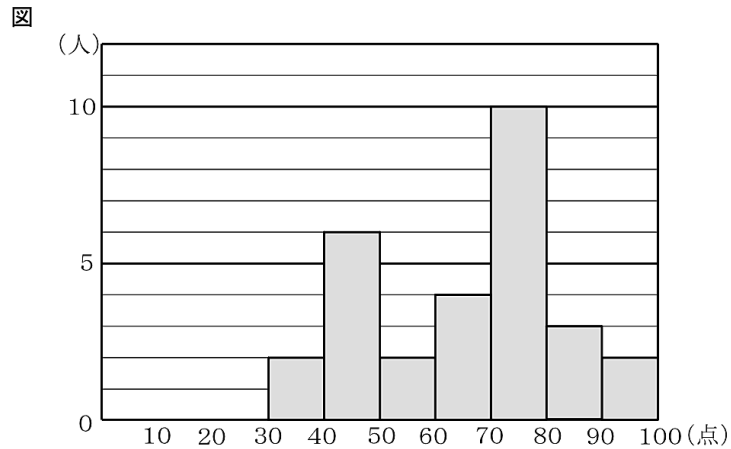


しょうたさんのクラスの生徒35人のうち、回数が一番多い生徒から数えて6番目の生徒は、何回以上何回未満のはんい（区間）にいますか。答えを書きなさい。

【チェック問題】⑤柱状グラフ（ヒストグラム）について知り、^{ちゅうじょう}度数分布表を基に、^{どすうぶんぷひょう}柱状グラフ（ヒストグラム）に表し、^{ちゅうじょう}読み取ること

H31_4月_中2・・・(1)82.1% (2)20.1%

図は、太郎さんの学級の生徒29人が、100点満点の国語のテストを受けたときの結果をヒストグラムに表したものです。このヒストグラムから、例えば、テストの得点が30点以上40点未満の生徒が2人いたことが分かります。あとの各問いに答えなさい。



(1) 国語のテストの得点が80点以上の生徒の人数を求めなさい。

(2) 太郎さんの学級の生徒29人の国語のテストの平均点は、66点でした。図を見た太郎さんは、次のように言いました。

ぼく
僕の得点は69点で、平均点の66点を上回っていたよ。だから、この学級の生徒29人では、僕より得点が低い人の方が多いよ。



太郎

しかし、太郎さんが言った「この学級の生徒29人では、僕より得点が低い人の方が多いよ」は、正しくありません。その理由を「中央値」という言葉を使って説明しなさい。

【説明】

小学校第6学年【資料の調べ方】のチェック問題【解答】

①(1) 25g以上 30g未満 (2) 40%

②(1) 30 (2) ア (3) 25%

③20%

④80回以上 90回未満

⑤(1) 5人

(2) 中央値は70点以上80点未満の階級に入っており、太郎さんの国語のテストの得点69点は中央値よりも低い得点なので、太郎さんより国語のテストの得点が高い人の方が多いから。

29人いるので、中央値は15人目の人の国語のテストの得点である。15人目の人の国語のテストの得点は70点以上80点未満の階級に入っており、太郎さんの国語のテストの得点は60点以上70点未満の階級に入っているため、太郎さんより国語のテストの得点が高い人の方が少ないから。